入　札　説　明　書

件名

「横浜市立市民病院磁気共鳴断層診断装置一式の購入」

（平成23年５月24日入札公告分）

横浜市立市民病院管理部経営経理課

平成23年５月24日横浜市病院経営局調達公告第15号で公告した「横浜市立市民病院磁気共鳴断層診断装置一式の購入」に係る入札等については、入札公告及び関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によります。

１　競争入札に付する事項

(1) 件名及び数量

横浜市立市民病院磁気共鳴断層診断装置　一式の購入

(2) 仕様及び特質

別添仕様書のとおり

(3) 納入期限

平成23年10月31日

(4) 納入場所

横浜市保土ケ谷区岡沢町56番地

横浜市立市民病院

(5) 入札方法

この入札は、総価により行います。

２　入札参加資格

入札に参加しようとする者は、次に掲げる条件をすべて満たし、かつ、入札参加資格を有することの確認を受けなければなりません。

(1) 横浜市病院経営局契約規程（平成17年３月病院経営局規程第32号）第３条第１項に掲げる者でないこと及び同条第２項の規定により定めた資格を有する者であること。

(2) 平成23･24年度横浜市一般競争入札有資格者名簿（物品・委託等関係）において「医療機械器具」に登録が認められている者で、かつ、Ａの等級に格付けされている者であること。

(3) 平成23年６月２日から入札日までの間のいずれかの日において、横浜市病院経営局一般競争参加停止及び指名停止等措置要綱に基づく一般競争参加停止及び指名停止措置を受けていない者であること。

(4) 当該物品に係る製造実績若しくは納入実績を有する者であること又は当該物品を納入することが可能な者であること。

３　入札参加の手続

入札に参加しようとする者は、次の(1)から(3)のとおり書類を提出しなければなりません。

(1) 提出書類

ア　物品・委託等入札参加資格審査申請書及び添付書類（平成23･24年度横浜市一般競争入札有資格者名簿に登載されていない者に限ります。）

イ　営業種目追加登録申請書（平成23･24年度横浜市の一般競争入札有資格者名簿に登載されている者で「医療機械器具」に登録が認められていない者に限ります。）

ウ　一般競争入札参加資格確認申請書

エ　実績調書等２(4)に該当することを証する書類

(2) 提出場所

ア (1)ア及びイの提出場所

〒231-0017　中区港町１丁目１番地
横浜市財政局契約部契約第二課（関内中央ビル２階）
電話　045(671)2248（直通）

イ (1)ウ及びエの提出場所

〒240-8555　保土ケ谷区岡沢町56番地
横浜市立市民病院管理部経営経理課物品管理係
川﨑　電話　045(331)1208（直通）

(3) 提出期限

平成23年６月２日まで（日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日午前９時から正午まで及び午後１時から午後５時まで）

(4) 入札参加に係る通知

次のア及びイによる通知は、平成23年６月15日までに行います。

ア　一般競争入札有資格者名簿登載に係る審査結果通知書

イ　入札参加資格確認に係る一般競争入札参加資格確認結果通知書

(5) 入札に参加しようとする者は、入札日までの間に会社合併・分割等の予定がある場合（会社合併・分割等を行った後に申出をしていない場合を含む。）は、必ず、入札説明書の交付期限までに申し出なければなりません。

格付等級の変更によって、入札参加資格を満たさなくなった場合は、当該入札に参加することができません。

４　入札参加資格の喪失

入札参加資格の確認結果の通知後、入札参加資格を有することの確認を受けた者が次のいずれかに該当するときは、当該入札に参加することができません。

(1) ２の資格条件を満たさなくなったとき。

(2) ３(1) に定める提出書類に虚偽の記載をしたとき。

５　仕様書等に関する質問

(1) 方法

入札参加者は、仕様等に質問があり回答を求める場合には、平成23年６月21日までに別紙質問書を(2)の部課に提出しなければなりません。

(2) 質問書の提出先

〒240-8555　保土ケ谷区岡沢町56番地
横浜市立市民病院管理部経営経理課物品管理係
川﨑　電話　045(331)1208（直通）

(3) 回答

質問に対する回答は、平成23年６月28日までに横浜市病院経営局ホームページ入札契約情報（http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/keiyaku.html）で行います。また、平成23年６月28日までに(2)の部課において文書により閲覧に供します。

(4) その他

入札後、当該仕様書等について不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできません。

6　入札方法

(1) 入札方法は、入札参加者が別紙様式による入札書を入札時に直接投函するか、又は(3)の郵便入札に限ります。

(2) 入札及び開札の日時及び場所

日時　平成23年７月６日午前10時

場所　保土ケ谷区岡沢町56番地

横浜市立市民病院管理棟１階会議室

(3) 郵便入札の方法等

ア　対象

郵便入札は、原則として遠隔地（例えば日本国外等）にある者を対象とします。郵便入札を行う場合は、３(2)イの部課に事前に連絡しなければなりません。

イ　受領期限

平成23年７月５日午後５時までに３(2)イの部課に必着のこと。

ウ　方法

郵便入札は、書留郵便によらなければなりません。この書留郵便は、二重封筒とし、別紙様式による入札書を中封筒に入れ密封の上、中封筒の封皮には氏名等を朱書し、外封筒の封皮には公告番号、件名、数量及び開札日とともに「入札書在中」と朱書しなければなりません。また、郵送した日に３(2)イに掲げる部課に必ず電話連絡しなければなりません（日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日午前９時から正午まで及び午後１時から午後５時まで）。

エ　郵送先

３(2)イに同じ

7　入札書の作成等

(1) 入札書及び入札に係る文書に使用する言語並びに通貨は、日本語及び日本国通貨に限ります。

(2) 入札参加者は、一切の諸経費を含めた契約希望金額を見積もらなければなりません。入札書には、課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、契約希望金額の105 分の100 に相当する金額を入札書に記載しなければなりません。

なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に５パーセントを加算した金額（契約希望金額）を落札価額とします。

(3) 入札参加者は、入札書の記載事項を訂正する場合には、当該訂正部分について押印をしなければなりません。ただし、入札金額を訂正する場合は、入札書を再作成しなければなりません。

(4) 入札参加者は、その提出した入札書の引換え、変更又は取消しをすることはできません。

8　入札及び開札における注意事項

(1) 入札

ア　入札参加者は、入札室に入場しようとするときは、入札関係職員に一般競争入札参加資格確認結果通知書を必ず提示しなければなりません。

なお、一般競争入札参加資格確認結果通知書の提示がない場合は、入札に参加できません。

イ　入札参加者は、遅刻した場合には、入札に参加できません。

ウ　入札参加者は、本件調達に係る入札について他の入札参加者の代理人となることができません。

エ　入札参加者は、入札・開札がすべて終了するまでの間、横浜市病院事業管理者（以下「事業管理者」という。）が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、入札室を退場することができません。

オ　入札室には、入札参加者又は入札関係職員以外の者は入場することができません。

カ　入札室において、公正な競争の執行を妨げ若しくは妨げようとした者又は公正な価格を害し若しくは談合をした者は、当該入札室から退去させます。

(2) 開札

開札は入札参加者が出席して行います。入札参加者が立ち会わないときは、当該入札事務に関係のない本市職員を立ち会わせてこれを行います。

(3) 再度入札

開札をした場合において、入札参加者の入札のうち、予定価格以下の入札がないときは、直ちに再度の入札を行います。なお、再度入札の回数は１回とします。

(4) 入札の中止

事業管理者は、入札参加者が談合し、又は不穏の挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行することができない状態にあると認めたときは、当該入札を延期し、又はこれを中止することがあります。

(5) 入札の辞退

入札参加者は、入札書を投函するまでは、次のア又はイの方法により、いつでも入札を辞退することができます。

なお、入札を辞退した者は、これを理由として以後の指名等について不利益な取扱いを受けるものではありません。

ア　入札執行前

入札辞退届を契約担当職員に直接持参するか、又は郵送しなければなりません。ただし、郵送の場合は、６(3)イの期限までに３(2)イの部課に必着のこと。

イ　入札執行中

入札辞退届又はその旨を明記した入札書を、入札を執行する職員に直接提出しなければなりません。

(6) 入札の無効

次の入札は無効とします。

ア　２の資格条件を満たさない者が行った入札

イ　３(1) に定める提出書類について虚偽の記載をした者が行った入札

ウ　横浜市病院経営局契約規程第24条の規定に掲げる入札

エ　前各号に定めるもののほか、この入札説明書に定める方法によらない入札

9　落札者の決定

(1) 横浜市病院経営局契約規程第17条の規定に基づいて作成された予定価格以下で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とします。

(2) 落札となるべき同価の入札をした者が２人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定します。

(3) (2) の同価の入札をした者のうち、開札に出席しない者又はくじを引かない者があるときは、当該入札事務に関係のない本市職員がこれに代ってくじを引き、落札者を決定します。

10　入札保証金及び契約保証金

いずれも免除します。

11　契約書の作成

(1) 競争入札を執行し、契約の相手方が決定したときは、契約の相手方と別紙様式による契約書を取りかわします。

(2) 事業管理者が契約の相手方とともに契約書に記名押印したときに、本契約は確定します。

(3) 契約の相手方は、その所在地が遠隔地にある場合には、事業管理者から２通の契約書の案の送付を受けて記名押印します。また、事業管理者は、当該契約書の案を受けてこれに記名押印し、そのうちの１通を契約の相手方に送付します。

(4) 契約書及び契約に係る文書に使用する言語並びに通貨は、日本語及び日本国通貨に限ります。

12　契約金の支払方法

(1) 前金払

行いません。

(2) 契約金の支払方法

納品検査終了後、請求に基づき契約金額を一括して支払います。

13　その他

(1) 当該入札参加者及び当該契約の相手方が本件調達に関して要した費用については、すべて当該入札参加者又は当該契約の相手方が負担します。

(2) 苦情申立て

ア　当該入札手続に関し、横浜市入札等監視委員会に対し苦情申立てを行うことができます。

なお、落札者の決定後苦情申立てが行われた場合、横浜市調達に係る苦情処理手続要領に基づき、契約締結の停止等が行われる場合があります。

イ　事務局

〒231-0017　中区港町１丁目１番地

横浜市財政局契約部契約第一課（関内中央ビル２階）

電話　045(671)3805（直通）

(3) 契約手続に関しての問い合わせ先

〒240-8555　保土ケ谷区岡沢町56番地

横浜市立市民病院管理部経営経理課物品管理係

川﨑　電話045(331)1208（直通）

(4) 入札説明書を入手した者は、これを当該入札以外の目的で使用できません。

「横浜市立市民病院　磁気共鳴断層診断装置一式の購入」

平成 23 年5月 24 日

横浜市立市民病院管理部経営経理課

横浜市立市民病院
磁気共鳴断層診断装置　仕様条件説明書

要求仕様内容			仕様条件
Ⅰ．機器本体に関する仕様・性能			
マグネット・ガントリシステム	1	静磁場強度	超電導方式で、静磁場強度が 1.5T（テスラ）以上であること。
	2	磁気シールド	アクティブシールド方式の磁気シールドを有すること。
	3	外部磁場補正	スキャン中の外部磁場変動を補正する機能は、変動磁場を 3 軸にリアルタイム補正する機能を有しており、補正機能は，マグネットシステムに内蔵されていること。
	4	自動シム	患者毎に自動で作動する磁場均一度向上機能（シミング機能）を有すること。
	5	静磁場安定性	0.1ppm/h 以下であること。
	6	漏洩磁場	5 ガウスラインが 3.0m×5.0m 以下であること。
	7	ガントリ長 （化粧カバー、傾斜磁場コイル、RF コイル、シムコイルを含む）	1,600mm 以下であること。
	8	ボア直径	水平・垂直方向に各々600mm 以上であること。
	9	液体ヘリウムの消費量	0.01l/h 以下であること。
	10	本体ガントリの操作パネル	ガントリ前面の左右両方に設置されていること。

	11	ガントリのモニタ表示	MR 本体にて計測された患者の生体波形（心電波形・呼吸波形・脈波波形）を表示できるモニタを有すること。
	12	ガントリ内の環境	ガントリ内に調整可能な換気システム、または送風システムが装備されていること。
	13	エマージェンシーコール機能	ナースコール機能を有し、コールボタンは握力の弱い方でも操作できるタイプであること。
	14	ガントリ内の照明	ボア内の照明は、間接照明方式又は調光機能を有する直接照明方式であること。
	15	患者監視システム	患者の状態を確認するため，頭側方向と足側方向に監視カメラとこれを表示するカラーモニタを有すること。
	16	酸素濃度監視システム	スキャンルーム内の酸素濃度を監視できるよう、酸素濃度計を有すること。操作室にアラーム付きの表示機械を設置すること。
傾斜磁場システム	17	傾斜磁場コイル	渦電流の抑制を目的とした 2 重構造のシールド型傾斜磁場コイルであること。
	18	最大傾斜磁場強度	X，Y，Z 軸の 3 軸それぞれで 30mT/m 以上であること。
	19	傾斜磁場スリューレート	X，Y，Z 軸の 3 軸それぞれで 200mT/m/msec 以上であること。または、最短の TE が 0.30ms(128×128 マトリクス撮像において）以下であり、且つ、最短の TR が 0.95ms(128×128 マトリクス撮像において）以下の高速撮像が可能であること。
	20	傾斜磁場電源	各軸それぞれに完全に独立した傾斜磁場電源を備えていること。
	21	傾斜磁場コイルの冷却	水冷方式であること。
	22	騒音対策	検査中に使用可能なヘッドフォンシステムを装備すること。

RF システム	23	送信管	半導体型であること。
	24	最大 RF 出力	15kW 以上であること。
	25	RF 調整	自動チューニングが可能であること。
	26	RF 受信システム	RF 受信チャンネル数が 48 チャンネル以上であること。または、同時に信号受信可能な RF 受信チャンネル数が 76 チャンネル以上であること。
RF コイル	27	コイルシステム	アレイコイルを 4 個以上同時に使用可能であること。 コネクターが 6 箇所以上設置されていること。
	28	全身用コイル	感度均一性に優れたバードケージコイルで送受信型であること
	29	頭部用コイル	パラレルイメージング撮像が行える 12ch 以上の頭部用コイルを有すること。
	30	頭頚部用コイル	パラレルイメージング撮像が行える 16ch 以上の頭頚部用コイルを有すること。
	31	心臓用コイル	パラレルイメージング撮像が行え、30ch 以上で心臓撮像が可能な心臓撮像用コイルを有すること。
	32	腹部用コイル	パラレルイメージング撮像が行える 18ch 以上の腹部専用コイルを有すること。
	33	乳房用コイル	パラレルイメージング撮像が行える 4ch 以上の乳房用コイルを有すること。
	34	脊椎用コイル	常時検査テーブルに埋め込みされおり、他のアレイコイルとの併用利用が可能であること。 パラレルイメージング撮像が行える 24ch 以上の脊椎用コイルを有すること。
	35	膝関節用コイル	パラレルイメージング撮像が行える 4ch 以上の膝関節用コイルを有すること。

	36	肩関節用コイル	パラレルイメージング撮像が行える 4ch 以上の肩関節用コイルを有すること。
	37	全下肢用コイル	複数のコイルを組み合わせることにより撮像が可能であること。
	38	表皮用コイル	やわらかな形状の円形サーフェイスコイルを数種類有すること。
	39	コイル設置方法	脊椎用コイルを寝台に設置したままの状態で、頭部、腹部用コイルを接続できること。
	40	コイル自動選択機能	各コイルは各々の素子が持つ位置情報を利用し、撮像時間を短縮するパラレルイメージング法に対応していること。
患者テーブル	41	寝台の構成	非磁性体で、安定性の高い構成であること。
	42	水平移動の精度	±0.8mm 以下であること。
	43	患者寝台の最低高	560mm 以下であること。
	44	寝台の最大耐荷重	上下稼働時において 200kg 以上であること。
	45	寝台移動距離	全身の撮像ができるように、寝台移動範囲は 1,400mm 以上であること。
	46	寝台の安全性	非常時に手動で患者テーブルを動作できる機構を有していること。
	47	寝台の構造	コイルのケーブルや呼吸同期、心電図同期に使用される生理信号ケーブルは寝台移動時に巻き込まれない構造であること。
	48	患者ポジショニング保持	患者ポジショニングの保持の為、バンド等の固定具を有すること。

制御処理システム	49	オペレーティングシステム	Windows XP や Linux 等を使用し、信頼性の高いものであること。
	50	本体操作	マウスとアイコンによる操作であること。
	51	メイン CPU	クロック周波数 2.0GHz 以上のデュアル CPU で、主記憶容量（RAM）は 4GB 以上であること。
	52	画像再構成機能	画像再構成時間が、4,000 画像/秒以上であること（256×256 マトリックス、100%FOV 時）。
	53	外部画像保存媒体	外部画像保存媒体として、DVD もしくは CD-R を備えていること。
	54	コンソール等のモニタ	モニタは、対角 19 インチ以上のカラーLCD モニタであること。
	55	モニタ表示機能	4 画像以上の分割表示ができ、ECG/脈波パルス及び呼吸波形を操作室において表示できること。
	56	操作言語	日本語対応であること。
	57	画面表示	撮像した画像が条件設定画面上で自動表示され、スクロールして各スライス断面の画像が確認できること。
	58	画像出力	画像サーバー（Synapse)、ドライイメージャー等への DICOM 画像出力機能を有すること。
	59	患者属性情報取得	RIS 等との DICOM MWM による患者属性情報の連携機能を有すること。

基本撮像機能	60	基本撮像法	SE 法、高速 SE 法、IR 法、GRE 法、EPI 法が行えること。
	61	撮像マトリクス	画像補間をせずに 1024×1024 マトリクスの画像が撮像できること。
	62	最大撮像視野（FOV）	500mm 以上であること。
	63	最短エコー時間（TE）	128×128 マトリックスにおいて 0.4ms 以下であること。
	64	最短繰返し時間（TR）	128×128 マトリックスにおいて 1.4ms 以下であること。
	65	2 次元撮像法での 最小スライス厚	0.5mm 以下であること。
	66	3 次元撮像法での 最小スライス厚	0.05mm 以下であること。
	67	撮像予約機能	複数の撮像の予約機能を有すること。
	68	撮像同期機能	心電・呼吸・脈波同期の機能を有し、呼吸同期とそれぞれ併用して撮像できること。 心電図同期は、ベクトル心電図（VCG）対応であること。 呼吸同期は、腹圧感知式センサーによるものと、心電同期併用型のナビゲーターエコー法の 2 種類を有すること。
	69	インターホン機能	検査時に息止め等の指示が出せるよう、患者との会話用インターホンを有すること。 BGM なども視聴できる機能を有すること。
	70	オートボイス機能	撮像に連動して息止めオートボイス機能を有すること。 日本語・英語・中国語など数ヶ国語の対応が可能であること。 独自にオートボイスの録音登録が可能であること。
	71	体動補正機能	患者の動きによる画像劣化を抑制する体動補正を行う機能を有し、コイルや部位、断面による制限無く使用できること。
	72	撮像位置決定機能	同時に 3 方向（アキシャル、サジタル、コロナル断面）の画像を用いて設定ができること。

高速撮像機能	73	パラレルイメージング法	パラレルイメージング法はSENSE法とSMASH法の2種類のアルゴリズムを有すること。または、高速化率の設定が最大6倍速以上であること。
	74	高速スピンエコー法	高速スピンエコー法は、フロー補正、プリサチュレーションを含むアーチファクト抑制法の併用と、CSF（脳脊髄液）・脂肪抑制法ができること。
	75	MRCP画像	息止め及び呼吸同期による、MRCP撮像ができること。
	76	脂肪抑制法	水励起法を含む4種類以上の手法があること。
	77	ステディステート法	2D/3Dの Steady-State Coherent 型 GRE 法を有すること。
	78	シングルショット高速スピンエコー法	2Dまたは3D撮像法で、512エコー以上のシングルショット高速スピンエコー法またはハーフフーリエ法を併用したシングルショット高速スピンエコー法ができること。
	79	磁化率強調画像	頭部の微小出血や微小な血管を描出するための手法として、磁化率強調撮像法を有すること。
	80	エコープラナーイメージング（EPI）法	スピンエコー（SE）、グラジエントエコー（GRE）タイプのエコープラナーイメージング（EPI）が可能であること。
	81	シングルショットEPI法	シングルショットEPIを用いた拡散強調（Diffusion）撮像、血液の潅流状態（Perfusion）撮像が行えること。
	82	拡散強調（Diffusion）画像のb値	b値は、0～7,000sec/mm²以上であること。
	83	テンソル画像	多軸Diffusionにより神経線維方向の可視化（Tensor画像）の撮像が可能であること。また、FAマップの処理、神経線維走行画像作成（FTI作成機能）が簡便にメインコンソールで行え、カラー表示ができること。できない場合は、サブコンソール等で行えること。

	84	拡散強調 (Diffusion)撮像	ADC マップ、Trace マップが撮像終了後に自動的に作成し、メインコンソールに表示が可能であること。
	85	FA 画像 (拡散の異方性の度合いを表す画像)	Diffusion 撮像後、FA マップの算出がメインコンソール上でできること。
	86	血液の潅流状態 (Perfusion)画像	Perfusion 画像を基に rCBV、rCBF 及び MTT のカラーマップおよびグラフ作成がメインコンソールで処理が可能であること。
	87	脳機能画像(fMRI)	Bold 効果を利用した fMRI 撮像を行う機能を有すること。
	88	脳機能画像(fMRI) の処理	脳機能画像(fMRI)の処理として、t-検定等の解析処理がメインコンソール上で処理が可能であること。
	89	MR スペクトロスコピー (MRS)撮像	頭部またはその他の部位において、MRS 撮像が可能なこと。また、ピークの自動表記が可能であること。
心臓検査機能	90	心臓 MRI 撮像	心筋シネ撮像、タギング解析、Perfusion、遅延造影の撮像が可能であること。
	91	心筋遅延造影	心筋遅延造影は 2D、3D の撮像が可能で、最適な TI 値を簡易検索できる機能を有すること。
	92	冠動脈撮像	心電図同期法及びナビゲーターエコー法による呼吸同期により、冠動脈を撮像することができる機能を有すること。
	93	心臓心筋及び心臓冠動脈撮像	T2 プリパルスの併用利用が可能であり、ナビゲーターエコー法において呼吸変動に伴う、横隔膜自動位置補正機能(ドリフト機能)が可能であること。

MR アンギオグラフィ	94	MR アンギオグラフィ（MRA）撮像	2D 及び 3D タイムオブフライト（TOF 法）、フェイズコントラスト（PC 法）が可能であること。TOF 法では、MTC 法及び励起角度が変化できる機能を有し、心電同期・脈波同期が併用できること。脂肪抑制法を併用し、造影剤を用いた MR アンギオ撮像（息止め 3D 撮像）が可能なこと。撮像終了後に自動にて MIP 表示が可能であること。MIP は、ターゲット MIP が行え、かつ任意の方向からのフリーハンドトレースが行えること。ダブルオブリークを含む任意のスライス方向の、3 次元マルチスラブ法ができること。
	95	血流の流速測定	フェイズコントラスト法において、血流速の測定法ができること。
	96	非造影 MRA の撮像	非造影 MRA 撮像用シーケンスを利用し、体幹及び四肢の領域において、フローボイドグラディエントを併用利用しての MRA・MRV が可能であること。
	97	造影 MRA の撮像	造影 MRA の撮像が可能で、造影剤の到達を目視しての撮像が可能であり、かつ、テーブルが自動で移動して広範囲撮像が可能であること。
ネットワーク	98	通信規格	DICOM3.0 に準拠し、send、print、worklist、Q/R に対応すること。
	99	データ転送	バックグランドでの転送が可能なこと。 転送速度を最短になるシステムを構築すること。
	100	イメージャーとの接続	南棟地下 1 階の現有装置（富士フィルムメディカル社製 DryPix7000）と接続し、フィルム出力可能なこと。また、既存の MRI 装置においても、同様の接続すること。
	101	院内情報システムとの接続	当院の医療情報システムと接続し、MWM が可能なこと。
	102	当院の画像ネットワークシステムとの接続	画像サーバー（Synapse）、読影用サーバー（Aqnet）、検像端末、新規画像診断ワークステーション及び画像解析処理用端末と接続し、画像転送、保存、参照が可能なこと。 （別紙　MRI 接続概要図　参照）
	103	検査情報の出力	患者毎の撮像シーケンスなどをファイル形式で保存、出力でき、データベース化して患者管理ができること。

Ⅱ. 付属品に関する仕様・性能			
画像診断ワークステーション	104	本体	各種画像処理のため、富士フィルムメディカル社製 VINCENT を用意すること。撮像終了直後から画像処理終了までの処理時間が最短になるようなシステムを構築すること。RAM、ハードディスク容量は別途協議すること。
	105	画像処理・機能	以下の機能を有すること。 (1) MIP・MINIP・ボリュームレンダリング・サーフェイスレンダリング等の 3D 処理 (2) フュージョン (3) time-intensity カーブ (4) 冠動脈解析 (5) 心機能解析 (6) 遅延造影解析 (7) MRI パーフュージョン
	106	モニタ	21inch 以上医用画像表示用の 2M カラーモニタを 2 台の液晶モニタを操作室に有すること。
	107	レーザープリンタ	画像出力用カラーレーザープリンタ（NEC MultiWriter 5750C）1 台を設置・接続すること。新規 MRI 装置、画像診断ワークステーション及び画像解析処理装置端末から出力可能であること。
	108	ネットワーク	新規及び既存の MRI 装置から画像を受け取ることができ、既存の画像サーバー（Synapse）、読影用サーバー（Aqnet）及び検像端末に転送、Q/R が可能であること。 （別紙　MRI 接続概要図　参照）
	109	設置工事	指定の位置に設置すること。配線・接続に関しては当院指定の接続業者と打ち合わせ工事すること。なお、配線・接続費用に関しては本体価格に含むこと。
読影端末	110	本体	画像表示用として 21inch 以上の医用画像表示用 2M カラーモニタを 4 台と 17inch 液晶カラーモニタを用意し、当院指定の医用画像情報システムを設置すること。 なお、読影環境に必要な備品等については、別途、担当者と協議すること。
	111	ネットワーク	既存の読影システムと接続すること。
	112	設置工事	指定の位置に設置すること。配線・接続に関しては当院指定の接続業者と打ち合わせ工事すること。なお、配線・接続費用に関しては本体価格に含むこと。

画像参照用システム	113	サーバー本体	既存読影用サーバーの画像保存容量 8TB 以上を新規増設すること。
	114	ネットワーク	既存の画像参照用システムと接続すること。 （別紙　MRI 接続概要図　参照）
	115	設置工事	指定の位置に設置すること。配線・接続に関しては当院指定の接続業者と打ち合わせ工事すること。なお、配線・接続費用に関しては本体価格に含むこと。
医療情報用端末	116	本体	当院 HIS・RIS 兼用端末デスクトップ型タイプ 1 台、HIS 端末デスクトップ型タイプとノート型タイプ（当院救急外来と同スペック）各 1 セット（すべて当院指定のもの）を設置・接続すること。また、光学マウス、マウスパッド、バーコードリーダー、指紋認証機器等を各々付属すること。
	117	ネットワーク	既存の医療情報用ネットワークシステムと接続すること。
	118	設置工事	指定の位置に設置すること。配線・接続に関しては当院指定の接続業者と打ち合わせ工事すること。なお、配線・接続費用に関しては本体価格に含むこと。
画像解析処理用端末	119	本体	早期アルツハイマー型認知症診断支援システム（VSRAD）用としてノート型タイプを設置すること。 17inch 液晶カラーモニタを備え、OS：Windows 7 Professional、プロフェッサー：2GHz 以上、メモリ：4GB 以上、HDD：250GB 以上（Dell Vostro 3750 相当）とする。アプリケーションソフト「Microsoft Office Professional 2010」を付属すること。
	120	画像出力	カラープリント可能であり、新規カラーレーザープリンタ（107 項）と接続設定すること。
	121	ネットワーク	新規 MRI 装置、画像診断ワークステーションから画像を受け取ることができ、検像端末に画像転送できること。 （別紙　MRI 接続概要図　参照）
	122	設置工事	指定の位置に設置すること。配線・接続に関しては当院指定の接続業者と打ち合わせ工事すること。なお、配線・接続費用に関しては本体価格に含むこと。

非磁性体医療機器	123	MRI 用デュアルヘッド自動造影剤注入装置	ソニックショット GX（根本杏林堂）または同等品を検査室に設置すること。当該装置においては、造影剤注入圧力グラフがモニタ上で監視可能であり、超音波モーター駆動であること。予備のシリンジアダプタを 2 セット用意すること。 設置に関わる取付・配線工事を行うこと。
	124	生体監視システム	スタープロダクト(株)製 MRI 室用血圧計マグライフ・ライト S/N または同等のものを設置すること。また、ミニノート型パソコン（Dell Inspiron Mini 10 相当）1 台を設置し、生体監視情報の数値が表示できること。 設置に関わる配線工事を行うこと。
	125	ストレッチャー	非磁性体 MRI 対応型を 1 台用意すること。
	126	車いす	非磁性体 MRI 対応型を 1 台用意すること。
	127	点滴台	非磁性体 MRI 対応型を 3 台用意すること。
検査室設備	128	酸素供給機器・吸引器	当院指定の機器（酸素・吸引）を検査室、前室の壁面に各 1 セットを設置すること。また、設置に関わる配管工事を行うこと。
	129	室内照明	検査室・操作室及び前室に調光機能付の LED ライト（蛍光灯型など）を設置し、充分な明るさを確保すること。 設置位置、個数等については、別途指示に従うこと。
	130	更衣室	指定する位置に更衣室を 2 箇所設置すること。また、各更衣室に単独スイッチスポットライト（天井埋め込み式）を設置すること。
	131	更衣用 カーテンレール	各更衣室の指定する位置に更衣用カーテンレールを 2 箇所設置すること。
	132	前室間仕切り用 カーテンレール	指定する位置に間仕切り用カーテンレールを設置すること。

	133	薬品棚	医薬品、医療物品保管のため設置すること。 NAVIS　NMR-900K-3SB：1 個、NM-650F-A4：1 個、 NM-KM250-A4：1 個、UDS-900：1 個、WS-2：4 個、WS-8：2 個、もしくは同等品とすること。
	134	処置用ベッド	指定する位置に設置し、カーテンで仕切れるように設置し、設置に関わる工事を行い設置すること。 PARAMOUNT BED　KA-452P、KS-170H、もしくは同等品とすること。
	135	ワゴン	医療材料、医薬品保管のため 1 台用意すること。 NAVIS　Y101K、もしくは同等品とすること。
	136	注射台	ステンレス注射台を 1 台用意すること。 NAVIS　SBL、もしくは同等品とすること。
	137	金属探知機	当院指定のものを 2 台用意すること。
	138	患者移動用マット	SHEEN MAN　ローラースライド及びイージースライドを各 1 台用意すること。
	139	撮像補助具	JN 式ポジショニングブロック（日興ファインズ　フルセット）：1 セット、ポジショニングクッション（モルテン　POSFIT）：1 セットを用意すること。 腹臥位用まくら（NAVIS　KK-1：1 個、KK-2：1 個）及び座位保持用クッション（NAVIS　円坐型：1 個）を用意すること。
	140	患者観察カメラ	検査室の指定する位置（ガントリの頭側及び足側）にカラー表示のガントリ内観察用カメラ一式各 1 台（計 2 台）を設置・配線すること。 また、前室・患者待合室の指定する位置にカラー表示患者観察用カメラ各 1 台（計 2 台）を設置・配線すること。
	141	患者観察モニタ	37V 型以上のカラー液晶テレビを備え、上記の全てのカメラ映像を同時に 4 分割表示ができるものを 1 セット、操作室の指定する位置に設置・配線を行うこと。 また、待合室のカメラ映像は既存の MRI 操作室及び受付においても観察可能とすること。

	142	操作卓及び作業用机	MRI コンソール用及びワークステーション用など各種端末用として、十分な作業スペースを有する操作卓及び作業用机を用意すること。 ITOKI　CPA-146HK-A：1 台、ITOKI　CPC-186HK-A：2 台、 ITOKI　CPA-2266SK-A：1 台、もしくは各々同等品を用意すること。
	143	操作室用椅子	操作室に作業用椅子を用意すること。 ITOKI　KZ-136GB-ST1D3：1台、KZ-130GB-ST1D3：4 台、もしくは同等品とすること。
	144	更衣用椅子	更衣室用の背あり椅子を 2 脚設置すること。 ITOKI　KJS-520D-Z9D7：2 台、もしくは同等品とすること。
	145	長椅子	前室での患者待機スペースに 1 台用意すること。 ITOKI　LFV-5120DF、もしくは同等品とすること。
	146	更衣用ロッカー	指定する位置に鍵付き更衣用 2 連ロッカー2 個を設置すること。 ITOKI　HLB-9821SS-R8：1 個、HLB-9821SS-B9：1 個、もしくは同等品とすること。 鍵部分は、プラスチック製のカードキータイプに変更すること。
	147	洗面台	指定する位置に手洗い用自動水栓洗面台ユニット（収納付き）を設置し、使用可能とすること。
	148	冷蔵庫	医薬品保管のため、SANYO SR-111：1 台、もしくは同等品を用意すること。
	149	オーディオシステム	検査室・前室及び操作室内に BGM・ラジオ放送等を流せるようにシステム（ONKYO　X-S1ND(B)：1 台）を設置すること。スピーカーは、各部屋 2 箇所に設置し、すべて天井埋め込み型とする。BOSE DS16FB：6 台、もしくは同等品とする。スピーカー（音響出力先）の切り替え・選択ができること。設置に関わる配線・工事を行い設置すること。
	150	コードレス電話機	親機・子機共コードレス電話機（Pioneer　TF-FN2027-R）を 1 セット用意すること。 また、配線・接続工事を行い、設置すること。

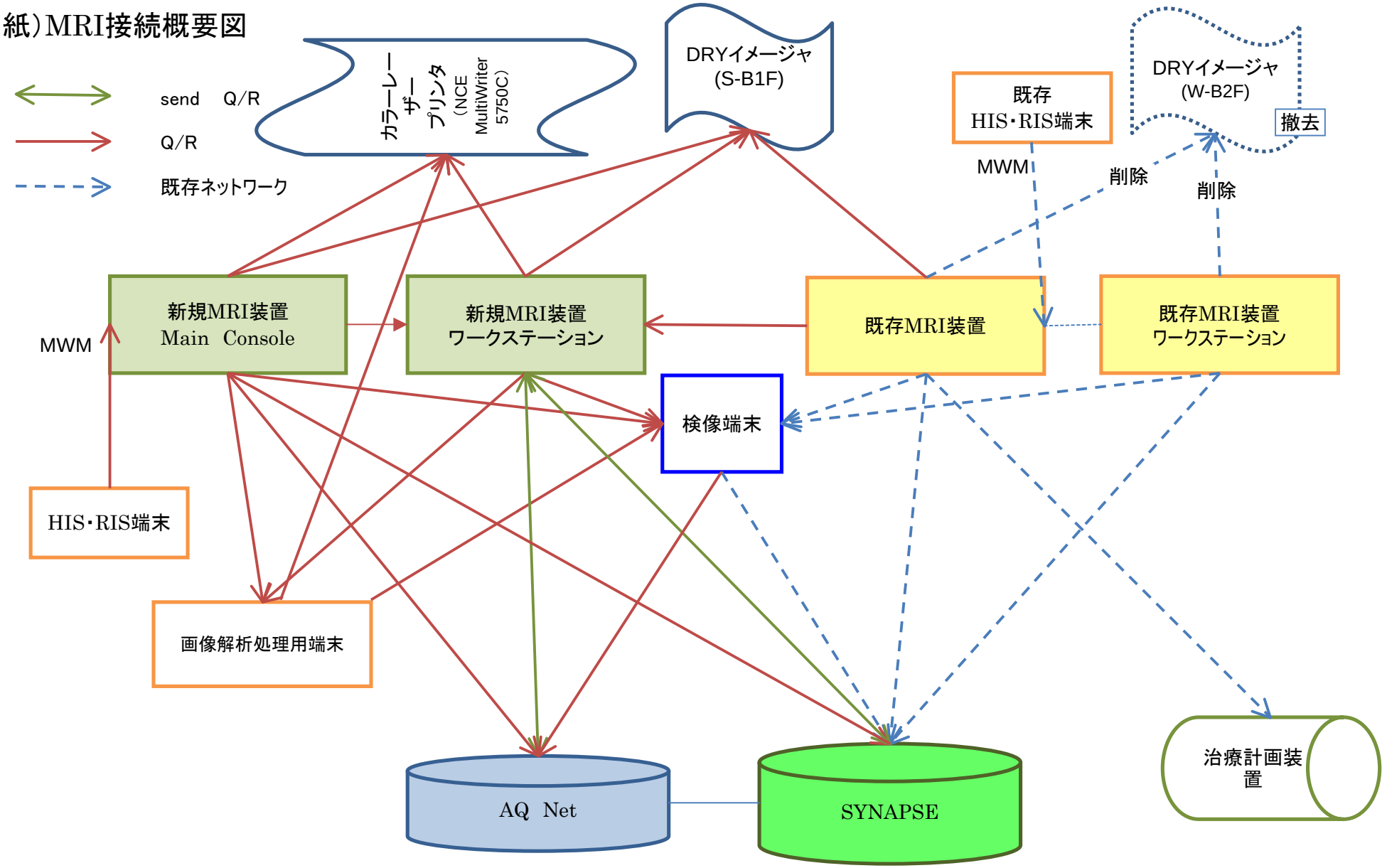
	151	ホワイトボード	当院指定の壁掛け式のものを、操作室の指定場所に設置すること。 日商 AT-13 900×600mm（無地）:1 台、AT-14 600×450mm（無地）:1 台、もしくは各々同等品を用意すること。
	152	壁時計	当院指定の秒針付き時計を新規に 2 個設置すること。 CASIO IQ-68-8JF:2 台、もしくは同等品とする。
	153	機器管理及び検査管理用 PC	Windows 7 Professional 搭載デスクトップ型パソコン（Dell OptiPlex 990 相当）1 台を設置し、接続すること。アプリケーションソフト「Microsoft Office Professional 2010」を付属すること。 また、設置に伴う配線・ネットワーク接続工事を行うこと。
	154	カラープリンタ	EP-803A(EPSON)ともしくは同等品。機器管理用 PC から出力可能であること。また、設置に伴う配線・ネットワーク接続工事を行うこと。
	155	コイル棚	指定する位置に当院で使用するすべての撮像用コイルを保管場所として収納棚を設置すること。
	156	操作室用備品棚	操作室に創りつけの壁面収納（幅 4000mm×高さ 600mm×奥行 420mm 程度、両開きタイプ、取り外し可能な棚）を設置すること。
	157	前室用備品棚	操作室に創りつけの壁面収納(幅 1400mm×高さ 800mm×奥行 420mm 程度、扉なしタイプ）を設置すること。
	158	リネン収納棚	患者用検査着、リネン類収納のため、指定する位置に収納棚を設置すること。
	159	待合室用テレビ	当院が指定する待合室壁面に地上デジタル放送対応型 37V 型以上のカラー液晶テレビを壁掛け設置し、DVD デッキを備えること。また、設置に伴う配線・工事を行うこと。

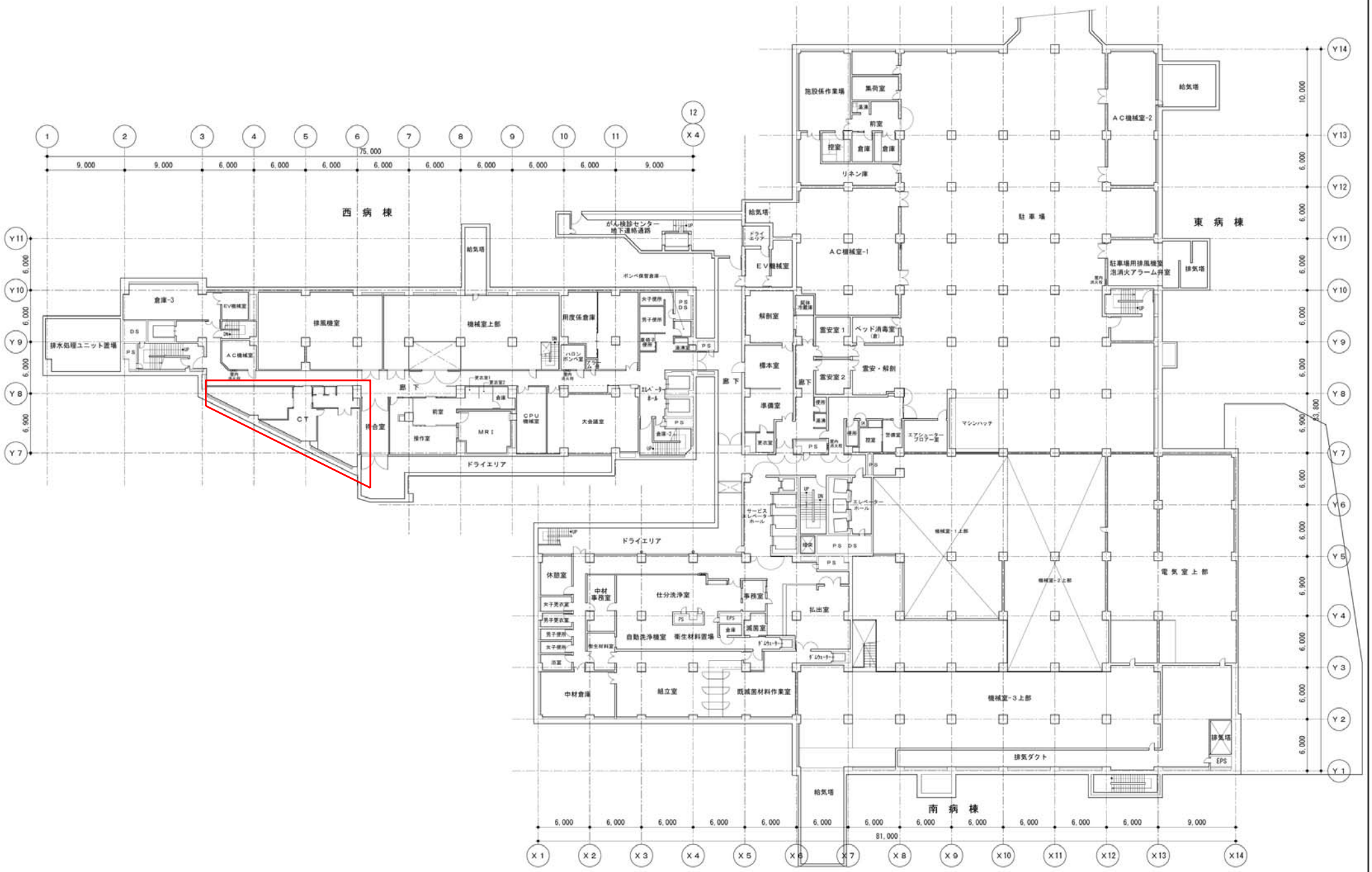
Ⅲ. その他に関する仕様・性能			
安全性	160	安全性	入札時点で薬事法承認機器であり、本仕様をすべて満たしていること。 緊急時に対応する安全装置を有すること。 架台等に設置する機器は落下防止のため固定すること。
設置条件	161	設置場所	当院の指定する場所より搬入でき、西棟地下 2 階旧 CT 室及び旧読影室に設置可能なこと。
	162	設置内容	①新規関連機器の搬入、据付工事及び調整を行うこと。 ②機器設置は、振動・落下・転倒等がないよう設置すること。 ③検査室・操作室・前室・待合室及び機械室の天井・壁及び床は清潔に保てるよう内装を行うこと。 ④本体及び付属品が当院新規設置の指定する場所に設置可能で、かつ運用上でも支障を来さないこと。 ⑤病院躯体及び設備等に関わる機器設置に伴う付帯工事は、当院施設係の管理の下、指示に従い施行すること。 ⑥物品の撤去、搬出、廃棄を当院の指定する方法で行うこと。 ⑦建築設備（補強工事、シールド工事、内装工事等）、電気設備（ダウントランス、分電盤、高調波抑制対策、弱電設備、照明設備等）、空調設備（空調工事、強制排気設備等）、給排水設備、消防設備等の改修工事一切は本体価格に含むこと。ただし、設置場所までの電源の確保は当院で行う。
	163	空調設備	検査室１台、操作室１台、機械室２台　単独空調を新規設置すること。また、機械室には自動排水可能な除湿機を用意し、設置すること。
	164	震災対策工事	すべての備品に関し、振動、落下、転倒等防止対策の固定工事を施工すること。
	165	標識・表示	使用中ランプや管理区域表示について定められているものすべてを用意し設置すること。
	166	職員通用口	当院の指定する場所に職員通用口を設け、通路にパーテーション等を設置すること。
	167	診療の確保	工事期間中も他検査室が支障なく診療可能とすること。

	168	仕様変更及びバージョンアップ	装置設置までの間に装置等（周辺機器も含め）の仕様変更やソフトバージョンアップがあった場合は、最新の仕様で設置すること。また、装置納入時までに、厚生労働省の薬事承認を受けていること。
	169	施錠システム	検査室・操作室・前室及び機械室の出入口扉等の鍵は、既存の MRI 検査室の鍵と統一とすること。 詳細は別途協議とする。
その他	170	保守体制	装置の故障時や緊急時には 24 時間、365 日対応が可能であり、かつ部品輸送が可能であること。
	171	リモートメンテナンス	装置保守用のリモートメンテナンス専用電話回線を敷設し、リモート診断、修理機能を有していること。
	172	緊急対応	装置の故障時・緊急時には 90 分以内に対応がとれること。また、業務を半日以内に再開できるようにすること。
	173	製品保証	装置の製品保証は、本体及び周辺機器を含め、納入後 10 年間、部品を確保すること。
	174	ネットワーク構築	機器本体や端末等も含め、すべての機器接続に必要な LAN 配線工事とネットワーク機器設置を行うこと。ネットワーク機器の設計・調達にあたっては、当院の医療情報システムネットワーク設備と同等の機能・性能を確保するとともに、既設機器と一体的な保守ができるように留意すること。機器本体側での安易なカスケード HUB 設置は認めない。医療情報システムへの影響がないようシステム運用担当部門及び当院指定の接続業者と調整のうえ、接続にあたっては十分に留意すること。
	175	ネットワークセキュリティ	読影端末、検像端末、ワークステーション等、当院が指定する端末に HIS サーバーよりウイルス定義を自動取得できるよう設定すること。
	176	取扱説明書	全ての機器について、取扱説明書を日本語版で 3 部提供すること。

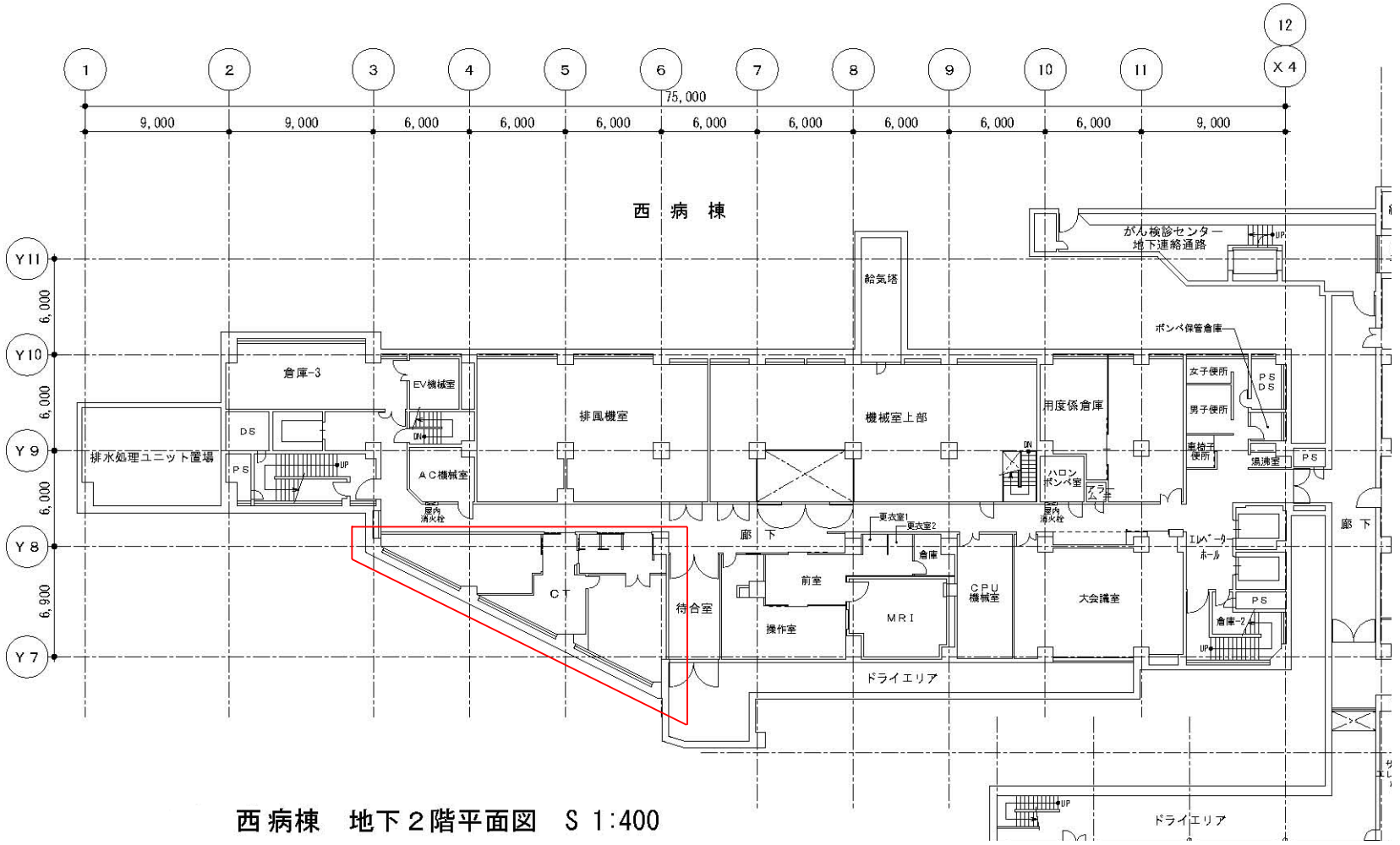
	177	竣工図面	3 部提供すること。
	178	取扱い説明に関する教育訓練	当院と協議の上、当院が必要とする日数（5 日以上）を確保すること。また、必要に応じて操作に関する電話対応、再派遣などの体制を確保すること。
	179	書類関係	関係省庁への設置届等に必要な書類を作成し、提出すること。
	180	受け入れ試験	受け入れ試験の実施は、当院職員立会いのもとで行い、試験結果を 2 部提出すること。 試験内容については別途協議すること。
	181	検収	検収は、「神奈川県立病院等のエックス線装置及び関連機器の購入基準取り扱い要領」に従って行うこと。
	182	納入後の対応	納入検査完了日から起算し、1 年間は無償でフルメンテナンスを行うこと。 メンテナンス実施日は、土日祝日で行うこと。 不変性試験についても必要な機器類を用意し、実施すること。
	183	特記事項	配線、設置工事、装置の撤去、建築・設備の改修工事、院内既存システムとの接続工事一切、及び接続に関する全ての費用（ソフト開発費なども含む）は本体価格に含むこと。
	184	最新情報提供	当該機器に関して、当院が必要とする最新情報の提供を常に行うこと。
	185	その他	当該機器の稼動上及び当院の構造上、必要な物品や工事等の項目は怠りなく行い、不明な点に関しては随時当院と協議の上、指示を受けること。

別紙）MRI接続概要図


send Q/R
Q/R
既存ネットワーク
カラーレーザープリンタ（NCE MultiWriter 5750C）
DRYイメージャ (S-B1F)
既存 HIS・RIS端末
DRYイメージャ (W-B2F)
撤去
MWM
削除
削除
新規MRI装置 Main Console
新規MRI装置 ワークステーション
既存MRI装置
既存MRI装置 ワークステーション
MWM
検像端末
HIS・RIS端末
画像解析処理用端末
AQ Net
SYNAPSE
治療計画装置



西・南・東病棟　地下２階平面図　S 1:400



西病棟　地下２階平面図　S 1:400